

令和5年度公益財団法人富山県文化振興財団事業報告

5月に新型コロナウイルス感染症の対応が季節性インフルエンザと同等に見直されたため、本県の芸術文化の振興等を図る様々な当財団の主催事業は、コロナ禍前の水準で展開することができた。一方、リモートによる人々の交流の定着や新しい文化ホールの開館などが影響し、管理する文化ホールの施設利用を十分に回復させることができなかった。

〔公益目的事業〕

1 文化及び芸術を振興するための文化施設の貸与、芸術文化事業の展開及び美術館・博物館施設の運営

(1) 施設の管理運営（文化施設の貸与及び美術館・博物館施設の運営）

【 県、魚津市及び南砺市から指定管理者の指定を受けた施設（10施設）】

〔 県民会館、教育文化会館、県民小劇場、高岡文化ホール、新川文化ホール、
利賀芸術公園、立山博物館、県美術館、水墨美術館、高志の国文学館 〕

①施設の適正な管理運営

利用者の安全・安心を最優先に、常に細心の注意を払って施設設備の維持管理に当たるとともに、消防訓練や救急救命講習の定期的実施、自然災害や不審者の侵入等を想定した緊急時対応マニュアルの充実に努め、実効ある危機管理体制により業務を実行した。

また、1月1日に発生した能登半島地震による財団が管理する施設への被害は軽微であったが、外構に生じた段差等がトラブルの原因とならないよう利用者への周知に努め、可能な限り快適で便利な施設環境を確保した。

②利用の促進、利用者サービスの向上

各施設の設置目的を踏まえ、適正で効率的な供用を行うとともに、文化ホール施設におけるインターネットを利用した施設予約情報の提供、美術館・博物館施設等における集客イベントの展開等を通じて、施設利用の促進に努めた。

また、利用者アンケートの実施等により、利用者のニーズや満足度を適宜把握し、その都度業務内容を見直してサービスの向上に努めた。

③指定管理者の再公募への対応

令和5年度末で指定期間が終了する教育文化会館、高岡文化ホール、新川文化ホール及び利賀芸術公園の4施設について、令和6年度から始まる新たな3年間の指定管理者の再公募に対して申請し、4施設全ての指定管理者として指定された。

(2) 芸術文化事業の展開等

コロナ禍で停滞気味であった芸術文化活動の活性化を促すため、当財団の特色ある文化振興事業を県立文化ホール及び県立美術館などで幅広く展開した。

①利賀芸術公園

世界の舞台芸術の拠点づくりを進めるため、世界的な舞台芸術集団「劇団 SCOT(主宰：鈴木忠志氏)」と共同して、舞台芸術の創造・発信事業に取り組むとともに、国際交流や人材育成などの事業を実施した。

ア 創造・発信事業

劇団 SCOT の作品上演を通じて優れた舞台芸術を創造・発信し、地域の文化芸術活動の活性化と舞台芸術の鑑賞機会の充実に努めた。

- ・ SCOT サマー・シーズン 2023
- ・ 公文協アートキャラバン事業「劇場へいこう3」
- ・ 日本博2.0 現代舞台芸術の魅力発信－芸術と地域との連携強化に向けて
- ・ 県内高校生による郷土芸能発表会

イ 人材育成事業

主に SCOT サマー・シーズン開催期間に合わせ、高校生、大学生、大人、それぞれの年代を対象とした演劇や舞台芸術、文化施策などを学ぶ人材育成事業を展開した。

- ・ 高校生夏期演劇講習会
- ・ 利賀演劇サロン
- ・ 利賀鈴木演劇塾（上級クラス、インターナショナル・クラス ほか）
- ・ 利賀インター・ゼミ
- ・ 県内出張演劇講座

②文化ホール

芸術文化活動への幅広い県民の参加を促すため、それぞれの地域の活動拠点施設として、各文化ホールにおいて多様な文化振興事業を展開した。

ア 優れた文化を身近に鑑賞する機会の充実

〔県民会館〕 県民会館寄席、かしまし三銃士 富山上陸！

〔教育文化会館〕 活動弁士 片岡一郎独演会、とやま映像祭

〔高岡文化ホール〕 小林愛実(ピアニ)、アントワ・タムスティ(ヴァイオリン) & 藤田真央(ピアノ) など

〔県民小劇場〕 ナーシャ・ゲジエ(パントマイム)、上野耕平(物知り) など

〔新川文化ホール〕 yama Christmas Special Live、フェイス・ニール・ワールド・ビート2024 など

イ 文化を通じた交流・文化活動への参加の拡大

(ア) ホール運営ボランティアの養成及び活動支援

県立文化ホールや市町立文化ホールの運営ボランティアの募集及び養成講座の企画・実施を担当するとともに、その活動を支援した。

(イ) 地元活動団体等の参加による各文化ホールでの舞台公演・作品展示等

〔県民会館〕 ボーダレス・アートセッション in とやま2024

〔教育文化会館〕 日本のおどり(日舞)、民謡春まつり

〔高岡文化ホール〕 高岡市芸術祭舞台公演、文化教室舞台公演・展覧会

〔新川文化ホール〕 かづみ野音楽祭、新川コーラスフェスティバル、魚津市民文化祭など

ウ 次世代を担う子どもたち、青少年の文化活動の充実

(ア) 学校コンサート（出前公演）

県内在住の演奏家を中心とした財団が企画した様々な編成により、県内の小学校において無料のコンサートを開催した（計 22 校 27 公演）。

(ウ) 各文化ホールにおける舞台公演など

〔県民会館〕 親子で聴く 0 才からのホールでオーケストラ

〔教育文化会館〕 とやま青少年伝統芸能祭

〔高岡文化ホール〕 音のゆりかごコンサート

〔県民小劇場〕 親子で楽しもう！子育て応援コンサート

〔新川文化ホール〕 小学生・中学生舞台芸術鑑賞会

③ 県美術館、水墨美術館、立山博物館及び高志の国文学館

県において企画・実施される企画展示に際し、県と一体となって円滑な運営に当たるとともに、美術館等においてミュージアムコンサートや夜間開苑などの集客イベントを開催し、各施設の PR と利用促進に努めた。

〔県美術館の企画展〕 生誕 120 年棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ、「前衛」写真の精神：なんでもないものの変容—瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄、大竹伸朗展、金曜ロードショーとジブリ展、倉俣史朗のデザイン—記憶のなかの小宇宙

〔水墨美術館の企画展〕 対決！くらべて見よう これとコレ、花のお江戸ライフ—浮世絵にみる江戸っ子スタイル、生誕 150 年記念 川合玉堂展、芳年—激動の時代を生きた鬼才浮世絵師、超絶技巧 未来へ！明治工芸とその DNA、川端龍子展

〔立山博物館の企画展〕 前期特別展 みてみて！仏像のポーズ 手足が語る“みほとけと立山”、後期特別展 越中立山の近世本草学—何でもあり！あふれる探求心—

〔高志の国文学館の企画展〕 百人一首 —和歌と美の世界展、絵本作家・降矢なな原画展、ドナルド・キーン—世界から見た日本文学展、没後 50 年翁久允 OKINA Kyuin 展、“風立ちぬ” 生誕 120 年 堀 辰雄と軽井沢の作家たち

④ 県民会館分館内山邸及び分館金岡邸

国登録有形文化財である豪農の館 内山邸及び菓種商の館 金岡邸の歴史的な建築と趣のある庭園を活かし、それぞれ茶道や華道等の会場などとしての利用促進に努めた。

また、内山邸においては、現代アート展やいけばな展、金岡邸においては落語会や生菓親子体験講座などを開催し、新たな観覧者の掘り起こしとリピーターの定着に努めた。

⑤ 県が推進する芸術文化催事の支援

県展、県民芸術文化祭、越中アートフェスタなど、県が推進する芸術文化催事に参画して事業運営を支援した。

2 郷土の文化的・歴史的遺産に関する学術の振興を図るための埋蔵文化財の調査研究

(1) 主要地方道富山魚津線道路橋りょう改築関連事業

道路橋りょう改築に伴う水橋荒町・辻ヶ堂遺跡（富山市）の現地における発掘調査及び発掘した遺物の整理を県から受託し、出土遺物の図化・写真撮影などを行った後、4年度、5年度の調査全体を取りまとめた報告書を刊行した。

(2) 県営農地整備関連事業

農地整備に伴う小長沢Ⅱ遺跡外、浜黒崎飯田遺跡外（富山市）の現地における発掘調査及び発掘した遺物の整理を県から受託し、出土遺物の図化・写真撮影などを行った後、小長沢Ⅱ遺跡は4年度、5年度の調査全体を取りまとめた報告書を、浜黒崎飯田遺跡外は5年度の調査報告書を刊行した。

(3) 普及事業

調査地周辺の住民等を対象とした遺跡現地説明会（於 浜黒崎町畑遺跡）を実施した。

(4) その他

事業量の減少に対応するとともに、職員の資質向上等をねらいとして、他団体に職員を派遣し、埋蔵文化財の調査研究業務に従事させた。

富山県（富山県埋蔵文化財センター）：5名（1名増員）

3 県民の心身の健全な発展を図るための富山県生涯学習カレッジの運営

カレッジ本部に加え、広域学習圏の拠点である新川地区センター、富山地区センター、高岡地区センター及び砺波地区センターにおいて、ウェルビーイング実現講座、夏季講座、学習団体講座、映像センター講座、自遊塾、つながる学びわくわく講座、学遊祭（キャンパスフェスティバル）などを実施し、多様な生涯学習事業を展開した。

また、年間を通じて学習相談窓口を開設して様々な生涯学習の問合せに対応するとともに、映像センター職員の撮影・編集による郷土学習教材の制作、ハイビジョン学習室を活用した優秀映像作品や貴重な映像作品の上映会などにも取り組んだ。

〔収益事業〕

1 文化施設の貸与（公益目的の施設貸与以外のもの）

県民会館（分館内山邸・金岡邸を含む。）、教育文化会館、県民小劇場、高岡文化ホール、新川文化ホール及び高志の国文学館の指定管理者として、施設の広範な利用促進に努めた。

2 施設利用に係る物品販売、付帯サービスの提供

文化ホールや美術館・博物館等において、県民サービス・利用者サービスの一環として、受付窓口におけるワンストップサービス（宅配や花の手配、看板製作等）、催事チケットの

受託販売、書籍やグッズの販売、清涼飲料の販売等を行った。

また、利賀創造交流館において、テント・キャンプ用品の貸出し等を行った。

〔財団の運営に関する事項〕

1 業務運営の改善

昨年導入したインターネットを使用した勤怠管理システムによりリアルタイムな労務管理を実践し、適正で働きやすい職場環境における業務運営に努めるとともに、利賀芸術公園については、南砺市利賀村の金融機関が廃止となったことに伴い会計事務の一部を財団事務局へ統合して一層の合理化・効率化を推進した。

2 経営基盤の安定化

(1) 経営課題への対処

定年後再雇用職員の継続終了等による正職員の新規採用が必要となっており、単独の法人説明会の開催や合同就職説明会への参加などにより多くの若者に応募してもらえるよう情報発信に努めた。

また、事業量が減少している埋蔵文化財調査については、引き続き、県と緊密に連携しながら、業務量の正確な把握と確保に努めた。

(2) 収支状況

海外紛争等に起因する石炭や天然ガスの高騰に伴う電気料金や都市ガス料金の上昇については、政府の価格激変緩和措置及び県による指定管理料の増額によって大幅に負担を軽減することができた。

一方、前年度は後半にコロナ禍後の様々なイベント再開の動きによって利用料金収入はコロナ禍前に近い水準にまで増加したが、今年度はその動きが継続せず、財団が主催する文化振興事業のほぼ全てを開催できたにも関わらず、文化ホール施設利用は伸び悩み、前年度より利用料金収入が減少した。